FMだいご放送番組審議会議事録

財団法人大子町開発公社ＦＭだいごは，第４回ＦＭだいご放送番組審議会を招集し，その次第は次のとおりである。

１　開催日時　　平成26年3月26日（水）午後４時00分～午後5時20分

２　開催場所　　大子町観光物産館　研修室

３　出 席 者　　委員総数　５名

（出席委員）　大藤博文，高信みどり，岡﨑正行，草間信行，須藤 明

（欠席委員）　なし

放送局　　　大子町開発公社事務局長 二方則安，FMだいご局長 蓮見信之

傍聴者　　　中村聡史（FMだいごホームページ制作会社ディレクター）

４　座長あいさつ　　大藤博文

　　　　町付，高柴，頃藤中継局の無線局免許状をいただいて，町内全域に放送エリアが拡大した。議会でも質問が出ているのは，FMだいごへの関心の高さと受け止めている。

FMだいごには非常時の緊急告知とコミュニティ放送の両面があり，そこを町民に理解してほしいと感じている。FMだいごに職員が不在でも，緊急時の町民への対応は出来ること。それによって，情報の伝達経路が確保されていることを周知してほしい。安心して生活が出来るように努めていることを強調したい。

昼の「ホッとだいごランチボックス」でも季節の話題，町内の出来事がたくさん盛り込まれてきた。番組の中で町の情報を更に発信して，コミュニティ放送の使命を果たしてほしい。

５　議題

1. 経過報告について
2. 自社番組を聴いて
3. 番組再編について
4. その他 ① 放送料金

　　　　 ② 緊急告知体制

③ その他

６　審議の内容　（司会：座長）

1. 経過報告について

・公約通りに年度内全域放送が出来てよかった。（その期待に応えられるようにしたい。）

・町内全域放送となり緊急告知ラジオが届くのを待っていたが，電波状態が悪くてクリアに聴こえない。屋内アンテナでしのいでいる。どこでも聞こえるようになるのが本来の姿だと思う。（現在，難聴地域を調査中で，次年度町予算で対応を考えている。）

・せっかく各戸に配付した緊急告知ラジオをまだ開封していない家庭が多いから，24時間休みなく放送していることを伝える必要である。（放送を聴いている方は分かっているので，聴いてない方へは町広報や地域での会合の折に啓発したい。）

・緊急告知ラジオの特徴も熟知しないと防災の意味がない。（電池消耗が早いこと。万一のために電池を買い置きしておくこと等を放送では繰り返し伝えている。）

1. 自社番組を聴いて

・番組の体裁が整ってきた。（4月の改編で自社番組を朝と夕刻にもお届けする。）

・防災チェック放送は参考になる。（今月は東日本大震災の惨禍を忘れないように多く放送した。）

・緊急告知は，FM局無人時でも消防本部から放送できる体制が整っていることを町民に知らせて，不安を払しょくさせたい。（月初めの告知訓練の際にそのことをお知らせする。）

・町内の桜名所紹介を聴いて地元民も参考になった。（出典は「大子桜マップ」です。）

・ひな祭り，レッドエンジェル，マラソン大会等を中継してくれて楽しい。マラソンを走り終えた子供たちの声が良かった。（スタッフが足りないのでいつも中継とはいかない）

・「緊急告知ラジオ」という名称から災害時に聴くラジオと思い込んでいて，24時間「FMだいご」が放送していると思っていない節がある。（24時間楽しめる放送局であることを放送や新番組表で訴えていきたい。）

・町民パーソナリティの出番を楽しみにしている。何人ぐらいいるのか？（研修中の方も含めれば10人前後である。男性の方はミキサーに関心を持っている。）

・放送に織り込んでいる「ステーションジングル」は可愛らしい。（「FMだいご」のイメージにふさわしいものが出来たと思っている。）

・大子町を離れても携帯Tune In Radioで聴いている。車での移動を生放送の時間帯に合わせている。（とても有難いことです。携帯Listen Radioでも聴けるようになると良い。）

・ラジオは年齢によって受け止めが違ってくる。パーソナリティの解説にも聴き入っている。青春時代の歌謡曲は気付くと口ずさんでいる。（そのご意見はパーソナリティの励みとなる。）

1. 番組再編（4月7日）について

・放送でスタッフ募集をやっているが町民ボランティアは足りているのか。（一人でも多くの方に「FMだいご」のお手伝いをお願いしたい。まずは，局の様子を見学してほしい。）

・新番組が増えるのは楽しみだが人員不足が気になる。（4月からは一部スタッフの2交代制導入もあり，ボランティアは多過ぎるくらい集めたい。）

・夕刻の番組は町民パーソナリティの進行なので構成はどの様にするのか。（多くのコミュニティFM局がやっている数分ずつ区切ったゾーンを繋いでいく手法で進める。）

・「読書のまち」にちなんで朗読の連続ものは如何か。（著作権次第となる。）

・大子町にも本を書いている方はいる。児童生徒の「明るい家庭作文」は回覧されても早く回さないと迷惑になるので放送で聴きたい。（子どもの作文は，家族だけでなく地域の関心が高いので聴取率も期待できる。）

　　　　・新番組に期待している。（町民に親しまれるFM局のスタンスを崩さないように進めていく。）

　（４）その他

　　　　①　放送料金

　　　　②　緊急告知ラジオの詳細

　　　　・説明だけで，質疑はなし。

７　その他

　　　　・次回の放送番組審議会　　　平成26年4月25日（金）16：00～

　　　　　　　　　　　　　　　　　　大子町観光物産館 研修室

８　審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日

・難聴対策は，防災減災に通じるFM放送なので次年度に町予算で対策を講じる。

　　　　・番組再編にあたっては，現存スタッフで出来るだけ要望に対応する。

９　審議機関の意見の概要を公表した場合における内容，方法及び年月日 　ホームページにて公開

10　その他の参考事項　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 なし